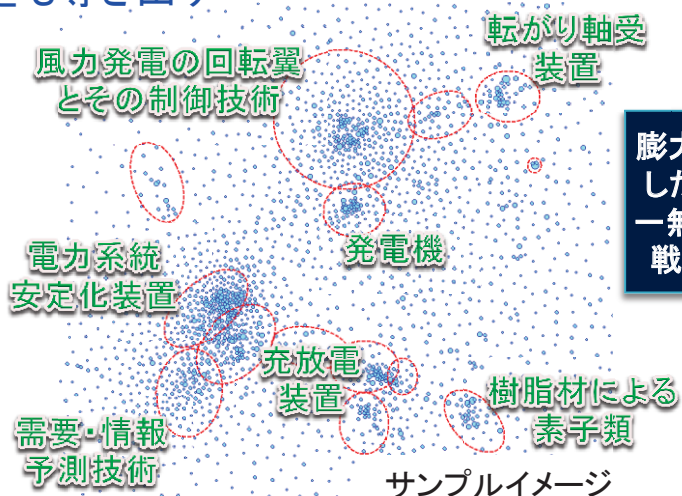


ビッグデータ活用ソリューションの紹介

ビッグデータ活用ソリューションによる技術トレンドレポートとは？

膨大な技術文献を俯瞰解析することで・・・

- 業界の全体構造を視覚的に把握する
- 現状分析から**Predictive analytics-将来予測**までも導き出す



膨大な文献を俯瞰したからこそその唯一無二の高精度な戦略情報を導出

数千～数万件の技術文献を用いて
話題技術・企業の開発状況の可視化

調査カテゴリー	レポート例
先端技術の最新動向調査	<ul style="list-style-type: none"> ■ リチウムイオン電池に代わるナトリウムイオン電池の萌芽状況 ■ 人工知能AI (Artificial Intelligence)の潮流 ■ 二度目のブームを迎えたバーチャルリアリティとプレイヤー
話題の業界・技術の全体トレンド分析	<ul style="list-style-type: none"> ■ センサを利用した新しい入力インターフェース ■ オーダーメイド医療のこれからの進展 ■ トレーサビリティ向上のための技術的アプローチ
技術的観点でみる買収・競合などの企業間関係	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三菱ケミカルグループと太陽日酸のシナジー効果 ■ Google and AppleのSmart Home Platformの戦い ■ 特許ポートフォリオからみた石油元売り業界の再編

百件を超える調査レポートを配信。
新しい話題の技術・企業・業界をテーマにした調査レポートを毎週木曜日に更新

3. 収集特許情報解析

収集した約 15,000 件の母集団を、近年に注目されている課題を抽出することを目的として、各特許の明細文の中でも「発明の解決課題」及び、「発明の効果」の項目欄を抽出し、その文章を用いて俯瞰解析を実施した。

解析によって分類された技術領域としては、大きく「ゴム組成による耐摩耗性・燃費向上」「溝構造による耐摩耗性向上」「耐久性向上のための補強層」「加硫成形・製造装置」「摩耗予測の精度向上」「タイヤ空気圧監視」などが確認できた。俯瞰図下部には特に件数多く出願される、ゴム組成やトレッドなどに関するタイヤそのものの特許群があり、一方で上部側には、件数は比較的に少なくなるものの、技術としてはタイヤに関わる各種検査・検知装置の特許群が存在することが分かる。

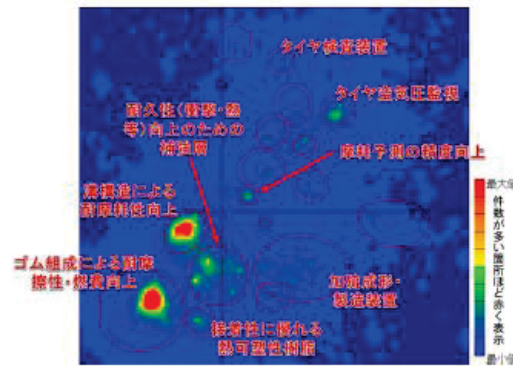


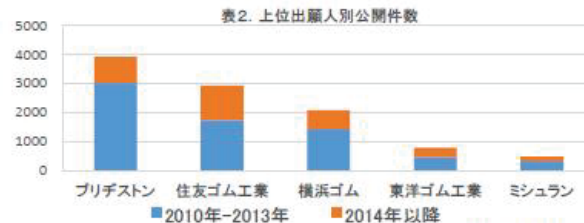
図1. タイヤ関連公報の課題・効果による可視化分類

話題技術・企業の文献
を二次元に俯瞰解析し、
調査した結果を紹介※1

どんな企業が、何を
開発をしているのか、
膨大な文献をもとに
分析※2

4. 各企業が取り組む課題・特性

母集団中の出願人をみていくと、件数トップはブリヂストンであり、次いで住友ゴム工業 (5110)、横浜ゴム (5101)、東洋ゴム工業 (5105)、ミシュランとなっている。特に直近2年の出願割合が高いのは住友ゴム工業であり、件数としてもトップのブリヂストンより多く出願する。



©2016 VALUENEX Japan Inc.

※1. レポートによって、図表の掲載がない場合があります。
※2. 調査内容によっては、異なる視点で分析している場合があります。